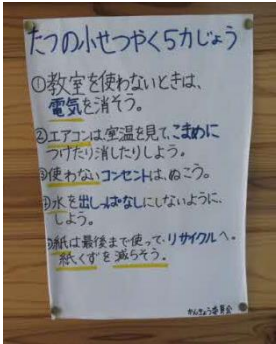




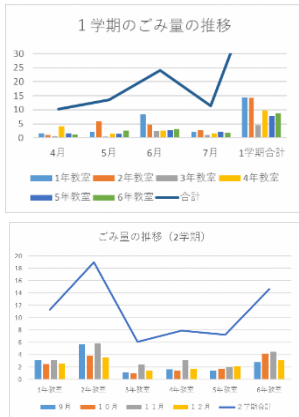
令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組

＜ 学校名：甲佐町立龍野小学校 ＞

1 取組の概要報告

（1）取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>◎ごみを減らします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室にリサイクルボックスを設置し、紙ゴミの再利用をし、紙ゴミを減らします。 ○数値目標を決め、ゴミの量を月ごとに記録します。グラフ化したものを掲示し、協力して取り組みます。 <p>◎節電に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電気のつけっ放しをせず、短時間でもこまめに消します。 <p>◎水を大切にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道の水を出しっ放しにせず、水の節約を心掛けます。 ○歯磨きやうがいの時は、コップを使用し、掃除の時のバケツの水は半分以下にします。 ○トイレの水を無駄に流しません。 <p>※その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野外教室で自然に親しみ、学び、知る体験活動を行います。 ○ペットボトルキャップ回収運動に参加し、ワクチンを送る活動に参加します。 ○校舎・校庭・校舎周辺の美化作業に協力して取り組みます。
行動		<p>＜環境委員会の呼びかけ活動＞</p> <p>給食の時間に各教室をまわり、環境問題への意識を高める絵本を選んで、読み聞かせを行った。その中で、ごみの減量やペットボトルのキャップの回収への協力をお願いした。また、それぞれがポスターを描いて、児童の目に入る壁などに掲示した。</p> <p>＜各分野での節約への取組＞</p> <p>毎週水曜日には、環境委員会の児童が、学校から出る全てのゴミを集め、計量している。毎週水曜日に、各教室及び職員室のゴミ箱を担当ごとにわかれて、ゴミを回収してまわっている。その計量結果をグラフにして、クラスに呼びかけたり掲示したりしている。</p> <p>また、紙の裏面の利用、両面印刷の紙は有価物回収で再利用に出すようにし、校内の燃えるゴミを極力削減できるように努めている。</p> <p>電気の使用量削減に向け、天気の良い日の給食時間や昼休みに必要ない照明やエアコンの使用を控えるよう、放送で校内に呼びかけている。エアコンの設定温度は夏場28度、冬場19度と定め、職員室からの操作盤で温度を管理し、本年度、省エネ運転に努めた。</p> <p>水の節約では、そうじの時のバケツの水量を半分以下にし、使用後のバケツの水を洗い場に流さず、木や花など植物にかけることを学校全体の約束にしている。また、汚れた水をそのまま排水に流さず、川をきれいにするということにもつながるように努めた。</p>

		<p><環境美化への取組></p> <p>清掃活動では室内掃除だけでなく、運動場や校庭の草取りや落ち葉掃きを行い、学校全体の環境美化に取り組んでいる。学校外の緑化に向けて、業間の時間にエコタイムを設け、二人一鉢運動に取り組んでいる。水やりをするなど大事に育て、入学式で新1年生が気持ちよく入学できるような環境作りに役立っている。</p> <p><自然に親しみ、学び、調べ・知る活動></p> <p>地域の自然を生かした体験活動として、竜野川での生き物探しや水質調査・観察、川遊びなど、発達段階に応じた『野外教室（川編）』を9月に行った。低学年は生き物探し、中学年は水生生物による水質調査、高学年はパックテストによる水質調査を行った。それぞれの学年ごとに調べたことをまとめて掲示するなど充実した活動になった。</p> <p>また、11月中旬には、『野外教室（山編）』の活動を行った。昨年度までとは中身を見直し、校内でできる活動に取り組んだ。低学年は、まつぼっくりやどんぐりを使ったリース作り、中学年は、地域の方々に協力をお願いして、水鉄砲づくりに取り組んだ。また、高学年は、竹灯りの作成に取り組んだ。地域の方々が全面的に協力してくださり、グループ毎に竹に飾り等を彫ったり、穴を開けたりすることができた。作成した竹灯りは、地域の祭りに展示し、祭りの盛り上げの一助になった。また、次年度の町の祭りでもある「あゆ祭り」に展示することも決まっている。</p>
<p>記録</p>		<p><環境委員会の呼びかけ活動と節約の取組></p> <p>ゴミの減量化達成に向け、学校から出る全てのゴミを集め、総重量をファイルに記録、集計した後で全体のゴミの量の変化をグラフ化し、各クラスで紹介すると共に、上位3学年を表彰した。</p> <p><その他 自然に親しみ、学び、知る活動></p> <p>『野外教室（川編・山編）』では、活動後のまとめを行っている。調査結果を整理したり、絵や作品、文に表現したりと、各学年に応じた方法で、活動内容や活動中に感じたこと等をまとめている。また、活動後には職員間で反省を行い、活動内容等を記録し、次年度の活動に向けて意見を整理し、充実を図った。</p>
<p>見直し</p>		<p>水・電気、ゴミの量については、運動会など、学校行事の関係や季節の中での増減が避けられない。今年度は、コロナ禍のため、行事が削減されたり通常通りの活動ができなかったりしたことでゴミの削減目標は達成することができた。ただ、例年通りの教育活動を行えば、目標を達成することはむずかしい。全面的に見直した上で、目標を再設定しないと、達成できない状況にある。1つの方法として、過去の記録と照らす方法が効果的であると考え。季節や月ごとの数値目標を十分検討した上で設定し、状況に応じてゆとりをもたせるなど、計画と見直しを繰り返しながら、減量や節約に取り組んでいく必要がある。</p>

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○ゴミの量の数値目標については、児童一人当たり月平均 200 グラムについては、コロナ禍ということもあって活動の制限があったので達成できた。多い月でも1人あたり173グラムと昨年よりもゴミを削減できている。</p> <p>○職員室のゴミの目標値等については、上回る月は4月と6月のふた月であった。昨年とほとんど変わらない結果であった。</p> <p>○シュレッダーにかけた紙ゴミや両面使用済みの紙、チラシ等を分別し、事務職員がリサイクルに持って行っているの、職員室から出る紙ゴミが大きく減っている。</p> <p>○バケツの水は少なめに入れ、使用後は木や花にかけることや歯みがきの際、コップを使用するなど、児童が習慣的に水の節約に取り組めるようになってきている。</p> <p>○日常の掃除では、「無言掃除の取組」をすることで、環境美化への意識が高まると同時に、校舎内外の掃除区域を分けたことで、児童自身が意識して環境美化に取り組む姿が見られるようになった。</p>	<p>○電気の節約については、校内の放送で呼びかけたり、チェックを行ったりすることを徹底し、さらに推進につながるよう見直しを図っていきたい。</p> <p>○リサイクルの呼びかけは、個人情報の関係もあり、シュレッダーから出る紙ゴミの量はあまり減少していない。</p> <p>○リサイクルボックスが各教室に設置されていなかったこともあり、各教室から出されるごみに大きく差が出ていた。</p> <p>○ごみの減量や分別をすることについては、教師の意識をさらに高め、分別を推進していきたい。そして、児童の意識を高めるような取組を継続的に行っていく、ごみの分別、減量を実践的に取り組んでいく必要がある。</p>